

(3) 生活環境

④ 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

～持続可能な循環型社会のシステムをめざします～

◆施策を取り巻く状況

＜現状＞

- ・東日本大震災以降、原子力発電所の稼働停止による化石燃料への依存度が高まり、温室効果ガスの削減はますます困難になっています。
- ・本市では、平成24（2012）年6月に「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入促進に関する条例」を施行しました。
- ・地域におけるエネルギー政策のあり方や、安定確保に対する市民の関心が高まっており、市民の安心な生活のために、地域におけるエネルギーの創出や有効利用を進める取組が求められています。
- ・家庭用におけるエネルギー消費は、生活の利便性・快適性を追求するライフスタイルの変化や世帯数の増加等の社会構造変化の影響を受けて増大しており、家庭部門における省エネルギーの推進は国でも喫緊の課題です。特に家庭部門の二酸化炭素排出量の割合が多い本市では、家庭における省エネルギーの取組が重要になります。

＜課題＞

- ・省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギー等~~の導入促進~~推進
- ・効率的なエネルギー利用の促進
- ・低炭素まちづくりの推進
- ・環境教育の推進
- ・環境負荷低減への取組

◆目標とすべきまちの姿

省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等導入に向けた理解が広まり、市民力、地域力を発揮した取組が進展し、歴史と環境が調和した循環型社会システムが構築されています。

~~本市の公共施設では、太陽光発電等の再生可能エネルギーの発電が行われ、住宅における住宅用太陽光等発電システムも普及が進んでいます。~~

本市の住宅、事業所、公共施設では、太陽光、太陽熱、燃料電池などの再生可能エネルギー等の普及が進んでいます。

◆主な取組

1. 省エネルギーの推進

市民・事業者・市が主体的かつ積極的に省エネルギーに取り組めるよう、省エネ意識の普及啓発や設備の省エネ化などの施策を展開します。また市民の省エネルギーの対応及び事業所における環境経営の取組を啓発するとともに、市役所も自ら地球温暖化対策などの環境負荷低減に取り組みます。

2. 再生可能エネルギー等の導入促進推進

太陽光などの再生可能エネルギー等の有効利用について検討し、家庭や公共施設への導入促進推進を図ります。

3. 効率的なエネルギー利用の促進

都市における未利用エネルギーの活用や、地域のエネルギーマネジメントについて検討を進めます。

4. 低炭素まちづくりの推進

都市全体のエネルギー構造を意識した公共施設配置の最適化や、緑地保全や緑化の取組、風の道などのヒートアイランド対策、交通量抑制策などの取組を通してエネルギー使用量の削減につながる低炭素まちづくりを進めます。

5. 環境教育の推進

環境教育を推進し、だれでもがどこでも環境保全活動を実践することをめざします。

◆この施策を具体的に推進する個別計画

(仮称) 鎌倉市エネルギー計画